

## 平成22年度第1回経営協議会議事要録

日時	平成22年4月22日(木) 10時00分				
場所	ホテル名古屋ガーデンパレス 桜の間				
出席	学内委員	6名	欠席	なし	
	学外委員	4名	欠席	2名	会議成立
開会	10時00分				

議事に先立ち、学長からあいさつの後、本年4月1日より第二期中期目標・中期計画期間がスタートしたこと、役員・監事・部局長等の交替があったこと、3月卒業者数・進路状況、4月入学者数、国立大学の入試結果比較等について説明があった。

続いて、出席者から自己紹介があった。

次いで、学長から、本協議会の設置の趣旨、組織、審議事項等について、本協議会規程に基づき説明があった。

引き続き、学長から今年度第1回経営協議会の開催にあたって、大学の取り組む課題として、①第二期中期目標・中期計画については、当面する6年間の対応として、県内出生数の変化及び教員養成政策の動向等を踏まえ、教育研究の質の向上に努めるとともに時代や社会の要請に応える組織整備を行うこと、②教育組織の改革・大学院博士課程の設置など2010年度の課題があること等について説明があった。

次いで総務課長から、本日の配付資料の確認及び会議日程の説明があった。

### 報告

#### 1. 第二期中期目標・中期計画及び平成22年度年度計画について

学長から、資料に基づき、報告があり、質疑応答の後、これを了承した。

○委員からの質疑意見等 ●大学側の応答

- 国際化に関する目標として、留学生受入数100人を目標にすることが挙げられているが、現在、どこの国からの留学生が中心なのか。
- 日本語を学びたい学生や教員養成大学で学びたい希望者がいる。国別では中国が半数を占めているが、その他韓国、台湾、カンボジア、ミャンマー等アジア圏が多い。
- 刈谷市との包括協定の取組内容はどのようなものか。
- これまでも本学と刈谷市とは、外国人児童生徒への学習支援、訪問科学実験、教員研修、空き店舗の利用、駅前商店街との共同事業等について連携・協力してきた実績があったが、両者が包括的な連携のもとで相互に協力するため締結したものである。具体的な取組として、刈谷駅南口に完成した総合文化センターの利用に係る取り決めや公開講座の増設等の詳細について、今後検討していきたい。
- 国の認可を受けるまでの手続きについて伺いたい。
- 昨年6月末に素案提出後、国立大学法人評価委員会の審議において、前文の記載について修正及び情報セキュリティ対策の推進についての記載を求められた。
- 組織及び業務全般の見直しについては、通知を踏まえて、学外有識者の意見の活用、他大学との事務の共同実施、法令遵守等について作成した。
- 教員のうち、外国人教員、女性教員の比率はどれくらいか。
- 外国人教員は7人(全体の約3%)、女性教員は15%ぐらい。
- 年度計画での重点項目は何か。学長補佐体制の中での戦略的な対策は何か。運営費交付金に反映されるので、年度計画をしっかりと立ててほしい。
- リーダーシップは役員会が執ることとなるが、学長補佐については項目を分け担当を決めて任命した。  
教育の重点事項としては、教員養成制度の方向性を見ながら初等及び中等課程の一本化を中心課題として、質的な保証をどう高めていくのかカリキュラムを詰めていきたい。

- 愛知県に大学との連携を担当するポストについてお願いしたい。
- これまで総合的な窓口はなく、具体的な事業内容に応じて個別に対応してきた。
- 社会連携の公開講座については、裁判員制度の導入を考慮し法教育を取り入れられないか。また、小・中・高生については将来、裁判員に選ばれたときのためのことも考えておく必要もある。
- 学生が系統的に学ぶことができればよいと思う。
- 愛知教育大学は全国トップレベルの教員就職率をあげているが、優秀な正規教員を送り出すために、学校現場がどういう教員を必要としているのかを大学の教員が認識して、学生への支援強化を図ってほしい。私立大学のような就職の面接指導もある程度必要である。
- 本学でもキャリア支援課で対応しており、校長経験のあるOBや附属学校副校長に面接指導をお願いしていて、指導を受けた学生の合格率は高い。
- 人事に関する計画の中で、附属学校教員の採用について広く人材の確保に努めるとあるが具体的な内容は何か。
- 附属高校は、大学に隣接していてコラボもし易いため、ポスドクを活かした教員採用について考えている。県との人事交流なので今後話し合う必要がある。
- オフィスアワーをある程度義務づけながら活用することが必要ではないか。
- 前任校では、学部学生（入学時や3年後期の研究室選択時）に対して大学院生が相談室を開設して、学部学生の知りたい情報を提供するなど好評を得ていた。
- 本学でも、オフィスアワーを実施はしているが、十分に活用されていない。検証の部分が弱いので反省材料としたい。

## 2. 2009年度就業規則改正等一覧について

折出委員から、資料に基づき、昨年度改正された関係規程及び改正内容等について報告があり、これを了承した。

なお、委員から職員への周知について漏れがないよう留意してほしい旨依頼があった。

閉 会 11時48分